

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2015年6月号

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第565号

すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」

イエスはお答えになった。「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」と書いてある。」(マタイによる福音書11-4節)

牧師だから誘惑にかかるようなことはないかというところ、そんなことはありません。むしろ見えないだけに大きな誘惑があります。イエス様でさえ誘惑にあわれたのですから。悪魔の誘惑、悪魔の存在を信じますか。16世紀の宗教改革者マルティン・ルターが、書齋で悪魔に向かってインクの壺を投げつけたという跡が、今も残っているそうです。黒いマントを着て、帽子をかぶりどがった鼻で槍を持った悪魔はいないと思います。しかし悪魔の誘惑というのは実際にあるのではないのでしょうか。

悪魔がそれらしい格好で、いかにもそれらしい言動をすれば、誘惑にはかからないでしよう。しかし実際は決して恐い敵ではない。見るからに嫌な悪者というような顔をしておらず、いつもわたしの味方であり、甘言を持って優しくて好ましい姿でやって来るものです。この悪魔には誰も

太刀打ちできない。悪魔は虎視眈眈とねらっています。イエス・キリストは悪魔の誘惑を受けるために、霊に導かれて荒野に行かれられました。そこで40日断食をされました。旧約聖書によれば、モーセも40日断食をしました。イスラエルが出エジプトして40年荒野をさまよいました。エリヤが山に登るのに40日間旅をしました。このように40という数字は特

## 誘惑



関西セミナーハウス活動センター運営委員  
所長代行 榎本 栄次

ことは、何でもお金にすることです。金さえあれば何でも出来る。経済至上主義の価値観に立つこと。今や日本中この誘惑にかかっています。幼稚園から年寄りまで、このお金の奴隷になってしまっていると言っても過言ではないでしょう。去年一年間で自殺した人が

別の意味があつて、それは大きな試みと悪魔の誘惑に出会うときでもあります。神様があえてそのようなところに連れ出されると言うことは、特別の意味があるのでしょうか。その誘惑の時こそ神に出会う恵みのときでもあるのです。イエス・キリストに向かって悪魔は囁きかけました「神の子なら、この石にパンになるように命じたらどうだ」と。石をパンに変えると言

27,000人もいたそうです。健康問題や経済問題が主な原因で、40代、50代、60代に集中しているのが特徴です。保険金目当てで、夫や子どもまで殺す事件が相次ぎました。お金のために若い女の子が援助交際という名の売春を平気でやる。黙って人のものを盗む。万引きが大流行人のポケットからお金を取る。

お金の誘惑ばかりではありません。美しい優しい女性の誘惑にも多くの人が陥ってしまっています。みんな何のためかという、幸せになりたいと

思い、甘い悪魔のささやきに負けてしまうのでしょうか。

私は小さいときからよく見る夢があります。それはすぐ立派な家に住んでいる夢です。小さい頃から貧しい家に育ったので、いつか大きな家に住みたい。大きな家に住んでいる人は心が綺麗だというような幻想があるのです。現実はずううまうきません。ですから、本心を言えば大きな家に住みたい、おいしいものを食べたい、きれいな女性と浮気もしてみたい。お金をいっぱい持ちたいという欲望は人一倍あります。

その気持ちに寄り添うようにして悪魔がやってきます。私は、すぐにこころとやられてしまいます。でもこの誘惑に完全に勝つ方法があるので。その知恵が必要です。それは神様の力に頼ることです。

イエス様も同じ様な欲望を持たれたようです。だから誘惑にあつたのです。イエスはこう言いました。「人はパンのみで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる」と。そうなのです。私たちもどんなに弱くても神様に頼っていくことができます。誘惑に負けない知恵を得ましょう。

(日本基督教団世光教会牧師)

# 公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

## 2014 年度事業報告 (総括)

当財団の 2014 年度の事業活動は、以下の通りである。

### 1. 事業の推進

#### 1) 公益目的事業

##### (1) 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター

- ①フォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続し、発展させた。
- ②アカデミー運動の理念に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組んだ。

##### (2) 関西セミナーハウス

- ①当財団の事業展開の拠点として、関西セミナーハウス活動センターの公益目的事業に施設を提供した。また、当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊施設、会場を諸団体、教育機関・学会・研究会活動等の広い利用に供した。
- ②関西セミナーハウス活動センターでの公益活動への財政的貢献を行った。

##### (3) 広報活動

- ①機関紙「はなしあい」を通して、諸活動(フォー

ラム事業、研修・セミナー・体験交流事業等)及び年度事業計画、事業報告等を広く広報した。

②関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター及び関西セミナーハウスの活動状況について、ホームページ等によって継続的に情報を発信した。

#### 2) 収益事業

##### (1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部を公益活動に資した。

##### (2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資した。

### 2. 事業運営推進

公益目的事業の推進に当たっては、継続的事业、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を行った。

### 3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員および寄附者からの支援を仰いだ。

## 正味財産増減計算書

2014 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,000	3,000	0
特定資産運用益	590,818	594,311	△ 3,493
受取会費	1,406,000	2,377,000	△ 971,000
事業収益	129,482,832	114,965,824	14,517,008
受取寄付金	3,727,051	4,744,892	△ 1,017,841
雑収益	230,020	473,791	△ 243,771
経常収益計	135,439,721	123,158,818	12,280,903
(2) 経常費用			
事業費	144,966,923	141,069,807	3,897,116
管理費	5,161,554	6,374,422	△ 1,212,868
経常費用計	150,128,477	147,444,229	2,684,248
当期経常増減額	△ 14,688,756	△ 24,285,411	9,596,655
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外費用			
固定資産除却損	107,698	0	107,698
特定資産償還損	298,858	0	298,858
経常外費用計	406,556	0	406,556
当期経常外増減額	△ 406,556	0	△ 406,556
当期一般正味財産増減額	△ 15,095,312	△ 24,285,411	9,190,099
一般正味財産期首残高	437,808,860	462,094,271	△ 24,285,411
一般正味財産期末残高	422,713,548	437,808,860	△ 15,095,312
II 正味財産期末残高	422,713,548	437,808,860	△ 15,095,312

関東活動センター

●聖書講座2014(入門編)

「まちがったつていいじゃないか!の福音書—マルコによる福音書を読んでみましよう」

日本キリスト教団武蔵野緑教会 柳下 明子さん  
会牧師、日本聖書神学校教員  
2015年1月15日(木)〜5月21日(木)(全5回)

早稲田奉仕園セミナーハウス  
共催 早稲田奉仕園

関東運営委員会と財団法人早稲田奉仕園との共催で、初読者向け聖書講座の企画が持たれた。このような趣旨の連続講座の企画は初めてであるため、今回は内部から講師を立てて進めることとし、聖書講座担当の柳下明子(日本キリスト教団武蔵野緑教会牧師・日本聖書神学校教員)がその役を担うこととした。

「マルコ福音書を読んでみましょう—失敗したつていいじゃないか—全5回の構成として組み立てた。二〇一五年一月十五日の第一回では、著者問題、年代など一般的な話から始まった。二月十二日の第二回「活動の開始—一章から三章」では、ガリラヤとい

こうして各章の内容まで大筋をとらえながら、とにかく読み通す、ということ講座ではめざした。出席者は毎回5人から10人と少人数のグループであり、肩ひじを張らずに聖書を読む雰囲気は生まれたが、参加者からはたびたび

「初読者には難しい」の感想が出されたことは反省点である。教理や教義に枠をはめられたのではない自由なテキストの解釈を少人数で行う機会は企画者にとっても良い体験であった。(報告:柳下明子)

関西セミナーハウス活動センター

●2014年度 修学院フォーラム「いのち」第3回  
「グリーフケアを考える—人は大切なものを喪失し、なぜ悲しみ嘆くのか」

上智大学特任教授、上智大学グリーフケア研究所特任所長 高木 慶子さん  
2015年2月28日(土)

様々な喪失体験の中で、人は何故嘆き悲しむのか、特に親しい人を亡くしたときに、人はどのような心理的、身体的、社会的反応を起こすか等は、これまで多くの研究がさ

れてきているが、長年、ターミナルステージにある患者さんに寄り添い、家族の死、特に理不尽な死に遭った遺族の方々のケアをされ、今も東北の被災地に通っておられる高木慶子氏は、その反応は、大変複雑で多彩、順不同に起こってくるものであることを、豊富な実例を挙げて話された。人生の小さな喪失をどのように乗り越えてきたかが、大きな喪失に遭遇したときに大きな助けになる。人生の苦しみ、悲しみを乗り越え



る力は各自に備わっているが、その力を引き出すのに、他者からの支え、励ましは大切である。最終的には、「おおいなるもの」の力を借りて乗り越えることができる。印象的だったのは、去る2月11日に大切なお兄様を亡くされ、初めて喪失の痛みがこれ程までのものだとなり、これまでたくさんの方の悲嘆に寄り添ってきたが、「他人ごとだった」と率直に話されたことである。多くの働きの中で、「自分の仕事は、祈ること」と断言されたのは、すべてのわがの根底にあるもの大切さを示されたと思う。

東西南北

任期満了に伴い、2015年度当財団定時評議員会(5月30日)で、次の通り役員が選任され、それぞれ就任した。(任期2年)

代表理事 小久保 正 小林 裕一  
理事 戒能 信生 神崎 清一  
土井 健司 中井 博雅 小村 信博  
木原 活信 神保 正男  
また、評議員補充のため、次の通り選任され、それぞれ就任した。(任期は、現評議員任期)  
評議員 棟方 信彦 柳井 一朗

プログラム案内

◆関東活動センター

■聖書講座 2015「新しい聖書の学び」

「イエスの譬え話」に響く声」(全10回)

講師：山口里子さん (日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：④ 7 月 14 日 ⑤ 9 月 8 日 ⑥ 10 月 13 日 火曜 18:30 ~ 20:00

会場：早稲田教会ロビー 参加費：1,200 円/学生 500 円 テキスト：『イエスの譬え話 1』 共催：早稲田奉仕園

■関東フォーラム宗教対話 I

「古典で読む 20 世紀 第 II 期」(全 4 回) 第 1 回「I. レーニン『帝国主義論』(岩波文庫)」

日時：7 月 24 日(金) 18:30 ~ 20:30

講師：武田利邦さん (農村伝道神学校講師)

会場：早稲田教会ロビー 参加費：500 円(4 回連続 1,500 円)

■関東フォーラム「今日的課題」

「自死」に遭遇した人への慰めとは - 牧会の現場から 第 2 期」(全 5 回)

講師：賀来周一さん (キリスト教カウンセリングセンター相談室長)

日時：② 7 月 13 日 ③ 9 月 14 日 ④ 10 月 5 日 ⑤ 11 月 9 日、

財団本部 http://www.academy-nippon.com 関東活動センター http://www.academy-tokyo.com 関西セミナーハウス http://www.kansai-seminarhouse.com/ 関西セミナーハウス活動センター http://www.academy-kansai.org

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー 代表理事 小久保 正

本部事務局 〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23 TEL 075-711-2147 FAX 075-701-5256

関東活動センター 〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 6 F TEL 03-3207-6198 E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス / 関西セミナーハウス活動センター 〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23 FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス TEL 075-711-2115 E-mail:info@kansai-seminarhouse.com 関西セミナーハウス活動センター TEL 075-711-2117 E-mail:office@academy-kansai.org

月曜 14:00 ~ 16:00

会場：日本聖書神学校 参加費：1 回 2,000 円 定員：10 名 (先着順、要申込み) 協賛：日本聖書神学校キリスト教研究所

◆関西セミナーハウス 修学院きらら山荘

■能を楽しむタベ in 修学院きらら山荘 第 24 回 能『清経』

日時：8 月 1 日(土) 14:00 ~ 解説・出演：林宗一郎さん (観世流 能楽師)

会場：関西セミナーハウス 定員：50 名 能観賞料金：2,000 円/学生 1,000 円

■月釜 清心会 日時：7 月 12 日(日)、9 月 13 日(日) 9:00 ~ 15:00 受付 (1、8 月を除く年 10 回)

於：関西セミナーハウス 年会費：5,000 円、臨時会費 1,000 円

◆関西セミナーハウス活動センター

■2015 年度修学院フォーラム「福祉」

第 1 回「希望の介護 - 認知症を考える『中島塾』によろこそ」

講師：中島 健二さん (京都府立医科大学名誉教授、神経内科医師)

日時：7 月 11 日(土) 13:30 ~ 17:30

会場：関西セミナーハウス 参加費：一般 2,300 円、学生 1,000 円

■2015 年度 開発教育セミナー

第 2 回「今、世界でおこっていること～イスラームが問題なのか?」

講師：岡 真理さん (京都大学大学院人間・環境学研究科教授)

日時：7 月 18 日(土) 16:00 ~ 19 日(日) 12:00

会場：関西セミナーハウス 会費：10,500 円 (1 泊 2 食込)

賛助会費・寄付金報告

2015 年 4 月 1 日 ~ 2015 年 4 月 30 日 (順不同・敬称略)

◆財団本部

寄付金 武藤 高司 10,000 日本基督教団早稲田教会 25,000

◆関東活動センター

賛助会費 手島 毅郎 5,000 大橋 祐治 5,000 吉田 豊 3,000 長沢 美沙子 5,000 大坪 正雄 5,000 徳久 俊彦 5,000 木岡 毅 5,000 立原 敬一 5,000 松岡 俊彦 5,000 犬飼 護郎 5,000 松島 美一 5,000

寄付金 服部 千賀子 5,000 橋口 仁 2,000

神学生交流プログラム募金

松原 千里 3,000 吉崎 聡子 5,000 井口 拓人 1,000 大橋 祐治 3,000 浦上 充 3,000

◆関西セミナーハウス

寄付金 岡林 功 3,000 片桐 英彦 3,000 首藤 忠平 3,000 杉本 紘彦 3,000 釣 昭夫 3,000 中井 博雅 3,000 三木 卓雄 3,000 宮崎 信行 3,000 武藤 高司 3,000 21 世紀会 1,430

牛尾 宣夫 10,000 竹中 百合子 1,000,000

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費

立石 昭三 3,000 福間 誠之 5,000 田中 潤治 5,000 久保田 暁一 5,000 高谷 泰市 5,000 塚本 誠一 5,000 齊藤 洋子 5,000 医)八田内科医院 10,000 山本 貞子 5,000 佐藤 友紀 5,000 佐野 千枝子 5,000 松岡 蓉子 5,000 平林 喜博 5,000 山岡 義生 10,000 山下 道 5,000 岡安 茂祐 5,000 白子 宗令 5,000 長塩 滋子 5,000 浅田 涼子 10,000 林 律 10,000 千葉 由紀子 10,000 黒田 睦子 3,000 大久保 由美子 3,000 魚木 アサ 5,000 中山 晴美 5,000 岩坂 二規・泰子 5,000 木原 諄二 5,000 酒井 哲雄 3,000 橋 俊子 60,000 北風 照子 5,000 シュベネマン クラウス 10,000 飯田 ふみ子 5,000 浅川 具美 10,000

寄付金 平林 喜博 5,000 以上、感謝をもってご報告申し上げます。